

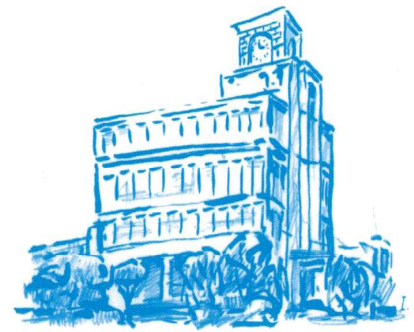
初任者訪問指導を終えて

伊丹市立総合教育センター

所長 永嶺 香織

7月7日から8月7日にかけて、今年度採用した小・中・高・特別支援学校合わせて28人の「初任者訪問指導」を実施しました。

教師には、「情熱・指導力・人間性」の3つの資質が求められます。授業の中で一生懸命子どもたちに向き合っている姿を通して、全ての初任者から「熱い情熱」を感じました。しかし、「指導力」については、まだまだ磨いてほしいと感じています。そこで、教師としての生命線である授業における「指導力」について心がけてほしいことを記します。



1つめは、「子ども主体の授業」をめざすことです。授業を参観し、一番気になったことは、教師がしゃべりすぎていることです。授業は子どもの活動が中心でなければなりません。教師はできるだけ言葉を少なくして、子どもが考える時間や対話の時間、発言の時間をできるだけ多く確保することが大切です。子どもの主体的な学びがあつてこそ、子どもに力が身につきます。

2つめは「学習意欲と達成感」のある授業です。子どもたちは、授業の最初のアツと驚くような導入で、その授業に興味や関心を持ちます。また、「めあて」を示すことで、本時の目的を理解します。最後に「振り返り」を行うことで、本時の授業の定着を図ることができます。魅力ある授業を行うためには、日々の教材研究を欠かさないことです。

3つめは、先輩の授業を見て学ぶことです。子どもが生き生きと活動している先輩の授業のどこに魅力があるのか。なぜ、子どもが興味を持って意欲的に学ぶことができるのか、どのような動機付けや言葉かけがあるのかなど、優れた先輩の「わざ」を学び取ってほしいと思います。身につけた指導力こそ、教師としての財産です。

第2回初任者研修(市関係)及び若手教員のためのスキルアップ講座

① ライフスキル教育講座

夏季休業中に第2回初任者研修(市関係)若手教員のスキルアップ講座を実施しました。子ども達や保護者の方への対応を、これまでを振り返りながら考える研修でした。その一部を紹介します。

② 保護者対応のあり方



KATSUBODU 4-1

上手に話を聞くチェックカード

5年 組 名

友だちの話を聞き方をチェックしましょう。
話を聞く人 () さん

- 話を集中する
 - () うなずいたり、身振りの出た声で聞いているか。
 - () 相手の話をとぎや断っているか。
 - () 相手の話中できいな行動(座りかたや姿勢など)をしなかったか。
- 話の内容に集中する
 - () 相手の話をさぼって聞いているか。
 - () 相手の話と関係のない話を聞いているか。
 - () 聞かれていないのにアドバイスをしているか。
- 話を聞き出す
 - () 「どうして」「なぜ」「どのように」など聞いているか。
 - () 相手の気持ちに合ったコメントを言っているか。
例:「それは楽しかったね。」
 - () 相手の気持ちを理解した言葉をかけられるか。
例:「そうだね、それじゃあ、量が増えるね。」

今日の授業の感想を書こう!

逆境の中でも良い面を見つける

- 最近あなたが強いストレスを感じた状況を思い出して書いてみましょう。
- そうした状況を経験することによって、何か得たものはあったでしょうか。

自分の思いがけない「強み」に気づいた

人生はかけがえのないものだと思えるようになった

精神的な成長を遂げた

社会的なつながりや周りの人々との関係が深まった

新しい可能性や方向性を見出した

©フリーマーケット「スタンプ」のイラストを加工したイラスト。大塚書房より



保護者対応の基本

【多くの場合】
保護者からのクレーム対応では、まず十分に「聴く」ことから始めるのが鉄則。
このときに使ってはいけない言葉として、「でもね」「違いますよ」「そんなことないです」「それはできません」といったいわゆる「否定言葉」がある。

クレーム対応の基本

- 多忙な時こそクレームには最優先で対応
- 保護者のクレームはわが子が可愛いさあまりの行為であると理解する
- 要望は安請け合いせず学校の方針は毅然と伝える
- 子どもが納得できる指導をすることがクレームの予防に繋がる
- 全ての過程で報告・連絡・相談を忘れない

学校現場で

3. 管理職に情報を集約
より早く、より多く、より正確な情報
これらが校長まで素早く届いている先手を打つことができる
学校側に落ち度があれば
怒鳴り込まれる前に謝罪に行ける情報の有無で、その後の展開が異なる

ハインリッヒの法則

1件の大きな事故・災害の背景に
29件の軽微な事故・災害、
そして300件のヒヤリ・ハット
(事故には至らなかったもののヒヤリとした、ハットした事例)があるとする。

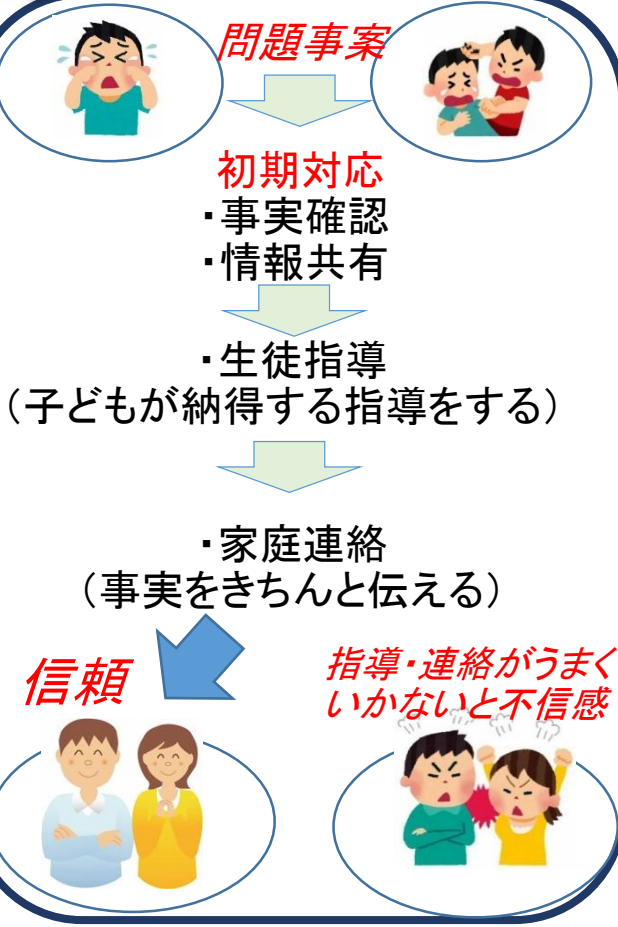
講演内容

講演内容

当日資料

若手教員の声

- ・目に見えない思いにも寄り添っていただける教師でありたいと思う。
- ・子ども達が自分の話をきちんと聞いてくれると感じてもらえるように日々の関わりを大切にしていこうと思う。
- ・自尊心を高めることの重要性は知っていたが、「ほめる」ということしか知らなかった。本日の研修では、「話を聞いてあげる」ことや「失敗も認め、勇気づける」等、具体的なことを学べたので実践していきたい。
- ・この研修を受けるのは2回目ではあるが、担任を持って4年目で多くの生徒と関わってきた今だからこそ感じることで、共感できることが多く有り、1回目のとき以上に今後の教育実践に行かしていけると感じる事ができた。



若手教員の声

- ・初期対応でその後の展開が大きく変わってくることがわかった。
- ・つい「否定的な言葉」を使ってしまいがちになるが、今回の研修を通して気をつけていこうと強く思った。
- ・保護者対応で重要なことは「聞く」ではなく、「聴く」姿勢が大事であることを学んだ。
- ・事実確認をしっかり行い、保護者に伝える。そして保護者の立場を理解しながら寄り添っていくことが重要だと感じた。
- ・生徒指導には明確な意図を持つ必要を感じた。
- ・管理職・学年団・生徒指導担当への報告・連絡・相談が大切であることを学んだ。

影響

自己有能感
自己尊重感
子どものレジリエンシー

子どもの自尊感情を高めるためには適切なはたらきかけや言葉かけが大切

- 自尊感情を高めるためには
- ・子ども達に**意思決定の機会**を与える
 - ・子どもの**話を聴く**
 - ・子どもが失敗したときに**勇気づける**

子どものレジリエンシーを育てる

当日資料一部抜粋

がんばれ！若い先生！！

ミドルリーダーからの一言



保護者対応の在り方講座では3年次ミドルリーダー養成研修と合同開催し、ミドルリーダーが指導役として1名に対し、若手教員2名～3名を1グループとして、事例をもとにロールプレイングを用いた研修を行いました。
指導していただいたミドルリーダーからの意見をご紹介します。



ロールプレイングでは、少し意地悪な保護者役を演じましたが、若手教員が担任役として毅然とした態度で論理的に説明をされる姿にとっても成長を感じました。

若手教員の真摯な態度や子ども達への思いやりがやりとりの中から伝わってきて、とても嬉しかったです。

若い先生方の授業に対する熱い気持ちが伝わってきました。今後も授業について、学級経営についてお話しできることを楽しみにしています。

子ども達には全ての場面で、教師が全力で取り組んでいる姿を見せること、たくさんの時間を共有することが大切だと思っています。そこから信頼関係は築けると思います。

保護者の信頼を得るには、授業がとても重要です。子ども達にどのような力をつけていきたいのかを考え日々の指導をしていくことが大切です。

同じ学校の若い先生に、もっと話しかけてみようと思いました。日頃から話せる関係をつくり、「管理職と教員、若手教員とベテラン教員、教員と子ども」といったように学校の中をつなげていきたいと思いました。

保護者は敵ではなく、子ども達の成長と一緒にサポートする仲間だと思っています。だから保護者からの相談は子どもの様子を知るチャンスだと考えています。そう思えるように、これからの経験を大切に素敵な先生へ成長してください。

発行 伊丹市立総合教育センター
所在地 〒664-0898 伊丹市千僧1丁目1番
TEL 072-780-2480
FAX 072-780-2482
開館日 月・火・木・金 : 9:00~21:00
水・土 : 9:00~17:00
休館日 日曜・祝日、年末・年始
総合教育センターHP <http://www.itami.ed.jp/>

<教育相談>
電話 072-772-6171 (電話相談)
072-780-2484 (来所相談)
お子様に関する様々な悩みや課題、
問題等の相談に応じています。
(来所・電話相談)
月・火・木・金 : 9:00~21:00
水・土 : 9:00~17:00

こまったことがあったらすぐ相談

兵庫県教育委員会
ひょうごっ子SNS悩み相談
LINEを使って利用できます

